

人間と動物は棲み分け出来るくらい山が豊か

冬眠から目覚めた熊は、洞穴から顔を出して辺りを見まわした。シイの実村は、春を迎えた。コブシが白い鳥の群れみたいに咲き誇っている。

おはなし散歩道

シイの実村の熊

湯沢町 富樫あい子

この村にダムや橋ができて、人々は村を離れ、街に越してしまった。最後まで頑張っていたカズヨさんの家、キヨさんの家、善三さんとフクさん夫婦の家が去って行く...

あの頃の村人の声が聞こえた。まだ工事が始まらないなら、この村でもう少し暮らしたいべえ。善三さん達、お年寄りの声が聞こえてきた。



(おわり) (挿し絵・小出 茂)

近頃、獣が里に出て来て畑を荒らしているらしいぞ。街の人は、困って畑に網を張るつてよ。熊はピンときた。ウサギのやつらだ！

我々は出来るかぎり、山の手入れをやるぞ。人は街、獣は山、我々は山によせてもらっていることを忘れてはならんのだよ。

高尾山物語 10

北条氏の多摩進出

絵・橋本豊治



天文十年(一五四二)頃 北条氏照誕生
天文十五年(一五四六)頃 川越合戦
永禄二年(一五五九)頃 氏照の大石氏継承

参考資料・『新八王子市史』 通史編2・中世

天文十五年(一五四六)、小田原北条氏三代目当主、北条氏康は扇谷上杉氏と山内上杉氏の両上杉氏を川越合戦で破った。その結果、武蔵国への支配を進め、多摩地域の小領主たちは北条氏に服属するか滅ぼされた。



書院・松の間にて記念撮影する菅谷執事長と内局の皆様

総本山智積院 内局御一行 年賀に来山

去る一月十八日、真言宗智山派総本山智積院より、芙蓉良英宗務総長をはじめとし、馬場修任総務部長、高麗行貞教学部長、笹沼弘憲教化部長、三神栄法務部長、久保田剛士財務部長、近藤昌俊宗務出張所長の皆様が来山されました。